

第二十八回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出) 委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治四十五年三月十八日午後一時三十八分開議

出席委員左ノ如シ

清 峯太郎君

武市

車太君

武藤

金吉君

齋藤 巳三郎君

綾部

惣兵衛君

築山

和一君

吉植 庄一郎君

石田

孝吉君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省商務局長 大久保利武君

農商務省工務局長 岡 實君

大藏次官 橋本圭三郎君

大藏省關稅局長 櫻井鐵太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○委員長(清峯太郎君) 是ヨリ開會致シマス

○武藤金吉君 大抵前回ニ於テ鄭寧ニ質問致シマシテ、質問モ終了致シテ居リマス

ルカラ、直ニ討論ニ移ラレムコトヲ望ミマス

(贊成「下呼フ者アリ」)

○吉植庄一郎君 チョット其前ニ之ト聯關シマセヌガ、ヤハリ關稅ノコトデ重大ナコトデア
リマスガ、少シ質問ヲ御許シテ願ヒタイ、—— 今回政府ノ關稅改正案ヲ御提出ニナツタ
大體ノ趣意ニ於テハ、頗ル機宜ヲ失セザル處置デアツテ、自分共ハ政府ガ一面ニハ貿易
ノ擴張ニ最モ力ヲ盡サレ、一面ニハ內國ノ工業ノ保護ニ力ヲ盡サレト云フ點ニ機宜ヲ
誤ラザルトコロハ、深ク諒トスル者デアリマス、是ト同時ニ政府ノ意思ヲ確メテ置キタイコ
トガアリマスガ、是「メチールアルコール」ノコトデアリマス、此「メチールアルコール」ナルモノハ
曩ニ關稅ノ改正ヲ企テル場合ニ於テハ、其輸入ハ極メテ其當時少ナカッタ、而シテ本ヨリ
採ルトコロ「アルコール」デアルガ爲ニ非常ナ臭氣ヲ持ッテ居ル、工業用トシテ使用スル
外飲料若クハ其他ノ用ニ使ハレナイ 狀況ノ下ニアツタノデ、ソコデ政府當局モ此「メチ
ールアルコール」ナルモノハ工業獎勵ノ趣意ヲ以テ、普通「アルコール」トハ非常ナル差ヲ
設ケテ、稅額カラ申シマスルト毎百斤ノ計算ニスルト木製ノ方ハ五圓九十五錢ト云フ
廉イ稅率ニ對シテ「アルコール」ノ方ハ五十五圓十二錢ト云フ、殆ド十倍トモ云フベキ高
イ率ヲ課シテアルニ拘ハラズ、木製ノ方ハ十分ノ一ノ廉イ稅ヲ輸入ガ出來ルト云フコ
トデアル、當時關稅改正ノ委員ニナラレタ 吾々同僚ノ中ニ於テハ、ドウモ世界ノ各方
面ニ於ケル製造所等ノ模様ヲ聞イテ見デモ、此木製ハ近年世界各國トモ非常ニ產額ガ
多クナリ、多クナルノミナラズ製法ニ改良ヲ加ヘテ、臭ヒヲ取ルトカ色ヲ取ルト云フガ如キ
コトハ極メテ簡易ナルコトデ、忽チニサウ云フ狀況ニナルデアラウ、サウ云フ場合ニハコンナ
ニ稅額ノ差ヲ付ケテ置クト云フト、輸入ヲ誘起シテ內國ノ「アルコール」事業ヲ潰スト云フ
ヤウナコトニナル真ガアルダラウ、故ニモット稅額ヲ高クシテ置カケレバイカスト云フ熱心
ナ主張モアツタガ、當時政府ノ見ルトコロニ於テハサウ懸念ハアルマイ、若シサウ懸念アリト

スレバ其杞憂ハ當然デアルカラ、稅率ニ於テ十分ノ防禦ノ出來ルヤウニシテ置ク 必要ガ
アルガ、ソレハドウモ本當ノ杞憂ニ過ギナイコトデアツテ事實サウ云フ懸念ハ無カラウ、斯
ウ云フ政府ノ見込デアルト云フノデ、是ハ見込ニ屬スルコトデアルカラ 當時政府當局ノ
見込ニ信賴シテ其儘ニナツタト云フコトデアル、然ルニ不幸ニシテ議員ノ側ニ於テモ 杞憂
ハ著々關稅法改正ノ結果ニ現ハレテ來テ、今日ハマダ改正後僅カナ歲月シカ經ナイノデア
ルケレドモ、臭ヒノアツタコロ「メチールアルコール」ハ全ク臭ヲ取ラレ色モ無色ノモノナ
リ、專門家デモ是ガ「メチールアルコール」デアルカ、普通「アルコール」デアルカ分ラヌ程
上手ニナツテ來タ、從ッテ其輸入額モ一方ハ百斤五十五圓一方ハ五圓九十錢ノ關稅
デドンノ入ッテ來テ、非常ニ內國ノ産業ノ壓迫ヲ蒙ルト云フ歴然タル事實ヲ現ハシテ
來タ、私ノ調査スルトコロニ依テ見デモ四十二年度ニハ磅ニシテ橫濱神戸デ輸入シタノ
ガ四十七萬六千八百二十三磅、四十四年度ハ六十三萬七千六百一十一磅、石數ニ換
算スルト四十四年ノ如キハ、千九百六十餘石約二千石ノ輸入ヲ見テ居ル、國家ノ收
入カラ言ウデモ若シ之ヲ普通「アルコール」ト同ジ稅ニ換算致シテ此差額ヲ見ル、稅額ニ
於テモ十八萬餘圓、國ガ收入ヲ少ナクシテ居ルト云フ譯デアル、ソレデ是ガ色ノ無クナ
タ無臭ノモノニアツデモ眞ニ工業タケニ用井ラレテ居ルト云フモノデアレバ、是ハ又必シモ否
認スル必要モナイノデ、色ガ無クナリ臭ヒガ無クナツデモ全ク最初ノ目的ノ通り工業用ニ
使ハレテ居ルナラバ宜シイガ、近時ハ見通スベカラザル方面ニ此害ガ蔓ッテ居ル、是ハ昨日
私が旅行先デ昨日發行ノ萬朝報ヲ見ルト、斯ウ云フコトガアル「飲メバ盲目トナル危險
ナ「ブランデー」斯ウ云フコトガ書イテアル「十四日ノ三井慈善病院集談會」席上デ眼
科醫長宮下醫學士ガ失明ノ一車夫ニ就イテ一場ノ講話ヲシテ其車夫ハ或居酒屋デ
一杯四錢「ブランデー」ヲ三杯飲シテ家ニ歸リ、翌朝目ガ覺メタ時ハ既ニ失明シテ居
タ、五六日シテ本月初旬三井病院ノ診察ヲ受ケタ、病院デハ原因調査ノ爲メ件ノ酒屋
「ブランデー」ヲ分析シテ見エメチールアルコールニ水ヲ割リ單舎ヲ加ヘテアルコトヲ發
見シタ「ト語ツタ元來飲料ニ用ユルハ「エチールアルコール」ト云ツテ輸入稅モ高イ、ソレニ
反シテ「メチールアルコール」トハ工業用ノモノデアルカラ價格モ安イガ、之ヲ飲用スルト六時
間ニシテ失明スルモノデアル、ツレガ坊間ノ酒屋ニ用井ラレテ居ルトスト衛生上大問題
デアル、此車夫ノ如キ例ハ他ノ病院デモ發見シタトカ、警視廳デハ取調中デアル「斯様
ナ記事ヲ見タ、此例ハ外國ニハモウ澤山アルノデアリマス、外國ノ雜誌ナドニハ幾ラモ今
日獨逸アタリノ醫學社會ノ問題ニナツテ居シ「メチールアルコール」ト云フハ本國ニ出
來ルトコロ「國々ニ於テモ下等社會ガ之ヲ安イ「ブランデー」ヲ飲ムバカリデナク、殆ド奸
商ガ原料トシテイロノモノヲ拵ヘテモ、殆ド鑑別ガ附カナイモノデアル、聞ク所ニ依
レバ「メチールアルコール」ヲ飲メバ舌ガ白クナルト云フヤウナコトヲ言ヒマス、サウ云フ譯デ、東
京ノ眞中デ一番警察モ行届キ政治モ行届イテ居ル處デ斯ノ如キ事實ガ出テ來タ、警視
廳デモ之ヲ調査中デアルト云フコトデアルガ、聞ク所ニ依レバ樺太方面ニ行ッテ居ル「ブラ
ンデー」トカ云フモノハ、大ノ部分ノヲ使ッテ居ルト云フコトデアリマス、邊陲ノ地ニ於テハ

必不奸商がサウ云フコトヲスルニ違ヒナイ、是ハ十分ノ一ノ稅ヲ濟ムカラ之ニ代ヘルト云フ傾キガ出テ來マス、是ハ殆ド輸入稅ニ於テ喰止メルヨリ外ハナイ、現在ノサウ云フ眼ガ潰レタト云フ事實ニ依ッテ調査スル外分ラヌカラシテ、ドレダケノ害ヲナシテ居ルト云フコトハ直チニ統計上ニ之ヲ示スコトハ出來マセヌガ、是モ常識ヲ以テ判斷スルヨリ外ハナイ、之ヲ抛ッテ置ケバ衛生上ニモ由キ大害ヲ與ヘルト思ヒマス、經濟ノ方面カラ言フデモ日本ノ「アルコール」ハ政府當局モ御承知ノ通り、内國ノ「アルコール」ハ漸々衰頹シテ一二ヲ除クノ外殆ド全部消滅シタト云フモ宜シイ、デ此「メチールアルコール」ハ僅ニ二千石以上ノ「アルコール」デアルガ、聞ク所ニ依レバ日本全國デ使フ「アルコール」ニ加ヘテ六千石内外ト聞イテ居リマスガ、此數字ガ間違ッテ居レバ御訂シ願ヒマスガ、今日ハ既ニ三分ノ一ノ「メチールアルコール」ガ入ッテ居ル譯デアル、此増進ノ比例ヲ申シマスレバ三割三分以上ノ増進ノ率ヲ以テ輸入ガ激增シツ、アル、マダ酒屋トカ或ハいろ／＼ノ者ガ「メチールアルコール」ノ一般ノ使方ヲ知ラヌカラ、是位デ濟ンデ居リマスガ、之ヲ混用シテシマヘバ分ラヌト云フコトガ分ッテ來レバ「サツカリシ」カ砂糖ノ領分ヲ侵シタヤウナモノデハナイ、是ハマダ非常ナ勢デ日本ノ「アルコール」事業ヲ壓迫スルト云フコトハ明瞭デアル、一方政府事業デ考ヘマスレバ樺太ノ如キハ樺太開發ノ材料トシテ獎勵シナケレバナラヌ、水精ノ製造ハ當局者モ計畫サレテ居ル、是等ハ樺太開發ノタメニ木カラ「アルコール」ヲ採ルノデ、樺太ニ於テハ重要ノ材料デアルト思ヒマス、然ルニ内國デ出來ルニモ拘ラズシテ外國カラ之ヲ入レル、斯ウ云フコトハ工業ノ目的ニ使ハレテ居ルトシテモ、外國カラ仰グノ必要ハナイ、樺太カラ出來ル見込ガ立ッテ居レバ是ハ政府ノ御提案ニ「ブロー」ド「問題デモ帝國ガ保護ヲシナケレバナラヌト云フコトハ吾々モ同感デアル、ソレ程ニ精神ヲ貫徹サスナラバ、斯ノ如キ關稅ノタメニ工業ノ壓迫ヲ被ッテ居ルモノニ對シテ一考シナイト云フノハ、甚ダ偏輕偏重ノ嫌ヒガアルト思ヒマス、殊ニ國民衛生ノ上ニ於テ容易ナラザル事實ヲ現ハシツ、アリマスノニ、政府ガ此議會ニ出シマセヌノハ緩急至極デアルト思ヒマス、此間中カラ實ハ數回政府委員ニモ話ヲシタ通り、當然政府ガ出スベキモノデアラウト思フ、サウ云フヤウナ御話モシタ場合デアリマスガ、政府ハドウモ最近ニ於テ制定シタ關稅ノ改正ヲ屢々企テルト云フコトハ如何ニモ面白クナイカラ、成ベクサウ云フ性質ノモノハ時勢ノ變遷ニ依ッテハ屢々生ズルモノデアルカラ、適當ノ時機ニ於テ一緒ニ——他ニモアルヤウデアリマスルカラ、段々調査ノ上ニ一緒ニシヤウト云フコトデアリマシタカラ、一緒ニヤルガ宜カラウト云フコトデアッタ、然ルニ突如トシテ此段改正案ガ出マシタ、政府ハ一方ニハ急要ト認メレバ、關稅ヲ改正シテカラ一年ニモナラナイ時デモ必要ヲ認メレバ改正案ヲ出シテ居リマス、一方ノ「メチールアルコール」ノ如キハ歴然ト爭フベカラザル經濟上、衛生上、財政上ニモ二十万ナリ十八万ナリノ是ガタメニ損ヲシテ居ルト云フ此點カラ考ヘテモ、等閑ニ附スベカラザルコトハ分リ切ッテ居ル、然ルニ一緒ニ之ヲ出サナカッタノ私ノ遺憾ニ思フコトデアリマスガ、議會ノ會期モ切迫シテ居ル今日ニ於テ、此以上政府ヲ責メテ見タトコロガ、議案ヲ提出スルト云フニハ、ソレ／＼時間モ要シマスシ、ソレ／＼ノ機關ニ掛ケルコトモアリマセウカラ、此機會ニ於テ之ヲ提出スルコトハ事情ガ許サヌト云フコトナラバ、來ルベキ二十九議會ニ十分ニ調査ラシテ御出シニナルト云フ御意思ガアリマスカドウカ、又之ニ對シテハ絶對ニサウ云フ必要ハナイト云フコトデゴザイマスルカ、政

府ノ見ル所ヲ明白ニシテ置キタイト思ヒマスルカラ、ドウゾ御答ヲ得テ置キタイ
○政府委員(櫻井鐵太郎君) 木精ニ付テイロ／＼御意見ガアリマシタガ、豫テ此問題ハ政府ニ於テモ攻究シテ居リマス、決シテ等閑ニ附シテ居ル譯デハアリマセヌ、唯今ノ御説ノアツタ通り、此品物タルヤ之ヲ工業上ニ利用スレバ頗ル有利デアル、併ナガラ飲メバ唯今新聞ヲ御讀ミニナリマシタヤウナ事ガ起ル、サウ云フ品物デアリマスカラ此木精ヲ直ニ見デ以テ衛生ニ害ガアルカラシテ、禁止の二稅ヲ課シテ入ラヌヤウニスルト云フコトハ出來ヌモノデラウト思ヒマス、衛生上ノコトハ衛生上ノ問題、又工事ノ上ノ目的ノコトモ考ヘナケバナラヌ、殊ニ木精ハ唯今御説ノアリマシタ如ク、樺太ニ於テハ材木カラ採ルノデアリマスガ、是ハ木精ヲスルコトノ事業計畫ハ既ニ出來タモノモアル、是モ有望ナリト云フ位デアリマスカラ、若シ是ガ絶對的衛生上ノ大害品デ、何處マデモ排斥シナケレバナラヌモノナラバ、樺太ニ於ケル木精ナル物ノ事業ヲ起スト云フコトモ或ハ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、或ハ外國ニ關係シタコトガアルカモ知ラヌシ、先ヅソコ等ノ問題ヲ能ク研究シナケレバナラヌ、先ヅ木精ハ之ニ依ッテ之ヲ用井「フオルマリン」ニ使用シ「フオルマリン」ハ養蠶家ノ如キハ必要缺クベカラザル品物トシテ使ッテ居ル、成程飲メバ惡ロシイ物ト思ヒマスガ、此點ハ何處マデモ衛生上ノ問題カラ取締ヲシナケレバナラヌコトハ吉植君ト御同感デアリマス、併ナガラ唯其點ヲ以テ禁止のニスルト云フコトハ、餘程考ヘマセヌト高イ稅ヲ課シマシタナラバ——木精ヲ禁止の稅ヲ課シテ入レヌヤウニスルコトハ、一方ニ之ヲ用井工業用ニ用井テ居「タモ」ガアリマス、ソレノ不便ヲ來サナイヤウナ又一ツノ方法ヲ講ジテ、而シテ後ニ外國カラ入ル木精ヲドウスル「タモ」ヲ考フベキモノト思ヒマス、直チニ之ヲ分ラヌモノガ飲ム、衛生ニ害ノアルコトヲ知ラズシテ飲ム、飲ンダ結果非常ナ害毒ヲ起ス、故ニ是ハ入ルベカラザル輸入稅ヲ課スルガ宜イト云フコトハ、少シク研究スベキ點デアルト思ヒマス、内地ノ「アルコール」業ガ全然衰滅ニ歸シタト云フ御説デアリマスガ、内地ノ「アルコール」業ハ近年ノ狀況デハサウ盛ンニ振ッテ大ニ殖エルトハ申シマセヌガ、先ヅ外國ノ「アルコール」ノ壓迫ヲ受ケズニヤレルヤウニナッテ居リマスカラ、相當ニ進ンデ居ルト思ヒマス併シ是ハ木精ノ關係ノナイトキニ於テハサウデラウケレドモ、木精ガ大ニ入ッテ來タトキハ「アルコール」ノ領分ヲ割サレルト云フ關係モアルカモ知レマセヌ、ソレデハ内地ノ産業ニモ關係シ、内地ノ養蠶業ニ必要ナルトコロノ「フオルマリン」ニモ關係スルト云フヤウナ種々複雑ナ關係アル問題デアリマスカラ、能ク御説ノ在ルトコロヲ政府ハ攻究シテ、其利害ヲ攻究シタ上デ、將來ノ輸入稅ヲ如何ニスルカト云フコトヲ決定シタイ考デアリマス
○吉植庄一郎君 政府ノ御趣意ノ在ル所ハ能ク分リマシタ、是ハ御如才モナク政府ハ取調ベル、コト、思ヒマスガ、丁度、「サツカリシ」ト云フモノガ酒ニモ使ヘバ、イロ／＼ナモノニ使ハレテ、其取締ニ長イ間苦シダ實例モアリマスガ「サツカリシ」ヲ使ッテ甘味ヲ加ヘルヨリモ尙容易イイロ／＼酒ヲ造ルコトモ出來ルモノデスカラ、黑人ガ見テモ分ラヌト云フ位ナモノデ、之ヲ使用スルコトヲ一般社會デハ知ラナイ位デアラウト思ヒマスカラ、幸ヒデスカンコトヲ段々知ッテ來ルト、惡イ奴ガ多イカラ、仕方ナイト云ヘバソレマデデアリマスガ、餘程政府デ注意シテ取締ヲ貫ハヌト、ズツ行渡ッテソナモノヲ入レタ酒ヲナリ何ガ東京ノ具中デ出來ルト、其取締ハ餘程著キ惡イト思フ、病人ガ出テ貴様ハ「メチー

ルアルコールヲ飲シテ云フヤウナコトデ、餘程取扱が面倒ニナッテ來ヤウト思フ、工業ノ
タメニ「アルコール」ガドウシテモ大切ナト云フコトハ私ハ同感デ、必ズシモ之ヲ絶滅スル
云フ譯ニハ行キマスマイガ、臭氣ノ強イモノデ色ノ著イテ居ルモノデアッタナラバ、サウ云フ
モノノ更ニ精製シテ日本へ來テドウシヤウト云フコトニナルト餘程臆却ニナリマスレド
モ、簡單ニ「アルコール」ヲ水ニ溶セバド「アルコール」デアッタカ分ラヌト云フヤウナ奇麗ナ
モノニナルト取締ハ出來ナイト思フデスカラ、此邊ハ同ジ「アルコール」ニシテモ精製シタ無臭
無味、殆ド普通ノ飲料用「アルコール」ト何等區別スルコトノ出來ナイモノニ對シテハ、工
業用ト見做サズシテ全ク杜絶ノ方針ヲ執ル位ノコトニ行カナイト——ソコニ見分ケノ付
クヤウニシテ置クト云フコトガ非常ニ必要デアリヤウニ考ヘマス、是等ノコトハ唯自分ガ心
付イタコトヲ申上ケテ置クデアリマスガ、要スルニ日本「アルコール」ハマダ保護スレバ
大分發達ノ餘地ガアルト思フ、臺灣ノ砂糖會社ナドモ近來非常ニ發達シテ來テ、其結
果劣等ナ「アルコール」ハアルサウダケレドモ、今マダ棄テ、置イタ砂糖滓ヲ以テ「アルコー
ル」ヲ造ル、是ガ近來製糖會社ノ產額ノ増加ト共ニ非常ニ殖エテ居ルケレドモ、日本國
内ニ於ケル「アルコール」ノ需用ハ程限ノアルモノデアル、ソレニメチルアル「アルコール」ノ如ク外
國カラ廉ク入ッテ來ルモノモアル、サウ云フ關係カラ日本ノ工業ノ發達ヲ鈍ラス、尤モ廉
イ物ヲ造レハ「アルコール」ハ日本バカリデ使用スルノデハナイ、世界中使フノデアルカラ世
界ニ賣出シタラ宜カラウト云フガ如キ、今マダ棄テルモノヲ算盤ニ合フヤウニシテ仕向ケテ
行ケバ、國內ニ於テ是等モ十分ノ產額ヲ見ルコトニナルカモ知レヌデス、私ハサウ聞イテ
居リマス、サウ云フ風ナ譯デア内國「アルコール」事業ハ保護獎勵ヲ加ヘタナラバ、相應ニ
發達ノ餘地ガアルト思フ、而シテ現在ニ於ケル日本「アルコール」ノ製造ハ、一人ノ
側ノ方カラ見ルト、陸軍省ナリ海軍省デ彈藥ヲ拵ヘル原料、其ノ他ノ原料トシテ使フ
「アルコール」ノ如キハ陸軍省ハ陸軍省デ海軍省ハ海軍省デ拵ヘルト云フコトモ聞イテ居
リマスガ、サウ云フ譯デア政府自ラ居ル以外ノ純粹ノ民間ノ製造業者ノ方面ハ、四圍ノ事
情カラ壓迫サレテ萎靡不振ノ狀態ニ在ルト云フコトヲ聞イテ居ル、是ハ相當考慮スベ
キ問題デアハナカラウカ、旁々此問題ニ付テ特ニ政府ノ御意見ヲ伺フ次第デアリマス、右
様ナ譯デアリマスカラ本年秋ノ議會マデニハ、十分御取調ノ上御提案ニナリタイモノデア
リマス、此事ハ特ニ希望ヲ申述ベテ置ク次第デアリマス

○武藤金吉君 私ハ此問題ニナッテ居リマス案ノ修正意見ヲ述ベタイ、近來我國ニ於
ケル「リンネル」ニオン「拔絲細工」ハ非常ニ長足ノ發達シテ、今ヤ三百万圓ヲ超エテ居
ルノデアリマス、而シテ今輸入スルコトコロノ原料ハ「ユニオンリンネル」及「プレート」ヲ合セマシ
テ百五十万圓デアッテ、サウシテ輸出スルコトコロノモノハ三百万圓以上ニナッテ居ルノデアリ
マス、現ニ百五十万圓ト云フモノハ全國各地ニ於テノ内職トシテ工賃ヲ徴サレテ居ル、非
常ナル日本ノ適當ナル貿易ノ事業デアリマシテ、而シテ此輸出先キニ於キマシテハ歐羅巴
品ト競争ヲ致シマシテ、非常ナル競争ノ結果、日本ノ勞銀ノ安イタメニ僅ナル差ヲ以テ
競争ニ打勝チツ、アルノデアリマス、然レドモ内ノ原料ノ供給ガ外國カラ仰ガナケレバ足ラ
ヌト云フ譯デアル、殊ニ「プレート」ニ至ッテハ其原料ノ三分ノ一シカマダ出來テ居ラナイ、
全國ノ機臺ハ七百二十四臺モアリマスケレドモ、マダ之ヲ全部動カスコトニナッテ居ナイ、
殊ニ内地ニ出來マスルモノハ未ダ完全ナルモノガ出來テ居リマセヌ、ソレデ私ハ此「プレート」

ニ對シテモ無稅ヲ主張スル者デアリマス、ケレドモ此内地ノ「プレート」ヲ保護スルコト云フ
上カラ政府ハ御同意ガアリマセヌカラ、私ハ此際自分ノ主張ヲ抛チマシテ政府ノ内地ノ
「プレート」業者ヲ保護スルコト云フコトニ同意ヲ致シマス、同意ヲ致シマスル同時ニ此條項
ノ別表輸入稅表中第二百九十九號第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第四項ヲ第五項
第五項ヲ第六項トス「其次ノ四漂白シタル平織ノ亞麻布及亞麻綿交織布(百平方
メートルニ付四十キログラムヲ超エサルモノ)トアリマス」四十「十七」下致シタイ、ドウシ
テ十七下致シタイト云ハ四十ト云フコトヲ置イテアリマスケレドモ、四十二達スルモノハ
殆ドナイノデアリマシテ、十五デモ宜イ位デアリマスケレドモ、是ハ十七ト直スコトハ適當ト
思ヒマスカラシテ十七ニ修正ヲ致シタイ、次ニ甲ノ亞麻布(五ミリメートル平方内ニ於ケル
經緯ノ絲數二十五ヲ超エ三十五ヲ超エサルモノ)ト云フノハ「三十二」ヲ超エサルモノト修
正ヲ致シマスデアリマス、乙ノ麻布綿交織布(五ミリメートル平方内ニ於ケル經緯ノ絲
數二十四ヲ超エ三十二ヲ超エサルモノ)トアリマス「二十一」ヲ超エサルモノト修正ヲ致シ
タイノデアリマス、其理由ハ甲ノ方ニ於キマシテハ既ニ我内地ニ於ケル製麻會社等ニ於
テ出來マスルモノモアリマスカラ、三十二ヲ超エサルモノト直シテ置ク方ガ適當ト思フ、又
乙ノ方ニ於テハ二十四ト原案ニナッテ居リマスケレドモ、現在最モ多ク使ッテ居リマスノハ
二十二二十三二十四デアリマスカラ、二十一ヲ超エサルモノト云フコトニナリマスルコト二
十一ハ入りマセヌ、二十二カラ此範圍ニ入ルト云フコトデ適當デアルト思ヒマスカラ、斯
様ニ修正ヲ致シタイト思ヒマス、尙此修正ヲ提出スル同時ニ此機會ニ於テ政府ノ言
明ヲ得テ置キタイ、ト思フノハ「プレート」ニ對シマシテハ三割ノ輸入稅ガ原料ニ課シテアル、
而シテ亞米利加ナリ歐羅巴ナリ之ヲ再輸出スル場合ニハ、戻稅ガ付イテ居ルノデア
リマス、此戻稅ハ内地ノ「プレート」製造業ガ十分ニ原料ニ充タスダケノモノガ出來、又
完全ニナルマデハ廢サナイ、廢サナイデ存置シテ置クト云フコトヲ政府ニ御明言ヲ願
ヒタイト思フ、如何トナラバ此問題ハ元ノ輸出ガ無クナッテ來マスレバ「プレート」ダケ出來タ
トコロガ日本ノ内地デ使フモノデアリマセヌ、悉ク是ハ歐米ノ各國ニ輸出ヲスルモノデア
リマスカラシテ、此貿易ヲ枯サナイト云フ點カラハ、最モ是ガ必要デアアルノデアリマスカラシ
テ、獨逸品ト競争シテモ負ケナイ位ニ品質總テノモノガ整フマデハ此戻稅ヲ廢セナイ、
現在ノ儘デ存置シテ置クト云フコトハ規定ハサレテアリマスケレドモ、此機會ニ於テ政府
當局ノ言明ヲ得テ置キタイ、尙此問題ニ付キマシテハ吾々ハ虚心坦懷、政府ガ此問
題ヲ出スト云フコトハ、亞米利加ノ關稅ノ解釋關稅ノ施行ノ方法カラシテ急ニ之ヲ
出サネバナラヌ又機會ニ到著シタノデアリマス、政府ハ斯様ノ重大ノ問題ニ就テハ泥棒ヲ
捕ヘテ繩ヲ縛ウ如ク、今日此様ニ切迫シテ出サナイデ、十分ニモウ少シ此機會ヲ失シナ
イヤウニシテ貫ヒタイ、又外務當局者ニ於キマシテモ斯様ナ關稅ノ問題ニ就テハ、始終
注意ヲ拂ッテ對外政策ト致シマシテ、十分ニ此機宜ヲ失セナイコトニシテ貫ヒタイ、今回
ノ亞米利加ニ對スルコトコロノ關稅定率ノ施行ノ實施ノ如キハ、誠ニ其一面ニ於テハ機宜ヲ
失シテ居ル點モアルノデアリマスカラ、將來ハ斯様ニナイコトヲ政府ニ警告ヲ致シテ置キタイ
ト思フノデアリマス、殊ニ吾々委員ハ斯ウ云フ問題ニ就テハ甚ダ素人デアリマスガ、
此二三日間ニ贊成ノ方ノ「プレート」業者ノ言フトコロモ、内地ノ製麻會社ノ言フトコロ
モ、亦貿易商ノ言フトコロモ政府委員ノ言フトコロモ、虚心坦懷ニ聽取リマシテ、サウシテ

吾々ノ考ヲ以テ此修正案ヲ出シタ譯デアリマス、新聞紙ナドニハ此問題ガ臭イトカ辛イトカ云フコトヲ書イタ新聞モアルサウデアリマスケレドモ、決シテ此問題ハ臭クモ甘クモ辛クモナシ、此貿易ノ上カラ虚心坦懷當業者ノ説ヲ聞キマシタケレドモ、左様ナ情實ヤ卑劣ナルコトヤ、又陋劣ナルコトハ蟻ッテ居リマセヌカラ、是ハ委員會ノ神聖ヲ保ツ上ニ於テ新聞紙ノ記事ハ私ハマダ見マセヌガ、清委員長ハ御覽ニナツタサウデアリマスケレドモ、國民新聞ニ吉植武藤清等云々ト云フコトガ書イテアツタト云フコトヲ委員長ハ御覽ニナラレタサウデアリマスケレドモ、怪シカラヌコトデアリマス、是ハ此問題ヲ決スルニ於テ、委員會ハ斯様ナ新聞ノ記事ノ出タノヲ甚ダ残念ニ思フ次第デアリマスガ、事實サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、何卒此修正案ニ政府モ御同意セラレ、委員諸君モ満場一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ希望致シマス

○齋藤巳三郎君 今ノ武藤君ノ修正ニ對シテ政府當局者ノ意見ノアルトコロヲ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今此案ノ御修正ノ意見ガ出マシタガ、前回ノ委員會ニ於テ幾多ノ御質問ニ對シテ、當時政府ノ考ヲ說明申上ゲマシタトキニ御答ヲ致シタコトモアリマスガ、其中此目方ノ點デアリマス、唯今御修正ニナルト云フ百平方「メートル」ノ目方ノ御修正デアリマスガ、是ハ政府ハ立案致シマス際ニハ、甲ト乙ト「二ツ」ニ分ケマシテ絲數ノ方ニ重キヲ置イテ、絲數ヨリ推シテ參レバ、自カラ目方ト云フモノハ大抵ノ制限ガ極マルモノデアアル、四十「キログラム」ト致シテ置イテモ到底四十「キログラム」ノヤウナ重イモノハ絲數ガ三十五「ヤ」ト出テ來ルモノデナイ、自カラ制限ガサレルカラト云フヤウナ考ヲ持チマシテ、四十一「ハ」餘リ重キヲ措カナカッタト申スコトハ、前來申上ゲタ通りデアリマス、唯今修正ノ御意見ノアリマス通り、之ヲ十七「ニ」スルト云フコトハ至極適當デラウト思ヒマシテ、政府ハ此修正ニ同意ヲ表シマス、ソレカラ其中ヲ甲乙ニ分ケテ甲ノ方ハ「絲數二十五ヲ超エ三十五ヲ超エサルモノ」トアルヲ二十一「ヲ」超エト云フ御修正デアリマス、政府ハ此案ヲ先キニ提案致シマスルトキハ、内地ノ亞麻綿交織布ノ製産ノ狀況、ソレカラ專ラ加工用ニ使ヒマスルトコロノ布地ノ絲數ヲ研究致シマシテ、原案ヲ定メタデアリマスガ、尙此會ニ於テ御審議ノ結果、今日修正ノ御意見ガ出タトコロヲ以テ考ヘマシレバ、此御修正ハ是亦政府ニ於テハ異議ナシトナ、御修正ノ意見ニ政府ハ同意ヲ表シマス、モウ「二」之ニ關聯スル修正案提出者ノ御説ガアリマシタガ、「ブレード」ノコトデアリマス、「ブレード」ノ戻稅ノ取扱ヲ現行ノ通りニ据エテ置クガ適當デアル、内地ノ「ブレード」製造業カ十分ニ發達シテ、最早外國ノモノヲ仰クニ及バヌト云フ時代ニ至ルマデハ、現行ノ擔保提供ノ手續ニ向ッテ外國ノ「ブレード」ヲ内地ノモノガ使フコトガ出來ル、其手續デス、其制度ヲ維持シテ置ク、繼續シテ置クト云フコトハ、政府提案者モ此案ヲ作ルトキニ既ニ其意思ガアツタノデス、唯今特ニ政府ノ意思ヲ言明セイト云フ御説デアリマシタ、政府ハ是マデヤツタ通りノ手續ヲ繼續シテヤツデ參リマス、斯ウ云フコトヲ茲ニ明カニ申上ゲテ置キマス、モウ一點ハ是ハ御修正ヲナサル 武藤君ノ警告ト思ヒマスノデ、別ニ之ニ對シテハ辯明致ス要モアリマセヌ、御警告ヲ能ク拜承致シテ置キマス

○武藤金吉君 チョット此際ニ確メテ置キタイノデアリマスガ、勅令デアリマス、加工ノ

爲輸入スル物品ニ關スル明治三十九年九月勅令第二百六十一號デアリマス、其中ノ第一條第四項ニ「絲拔絨」ト云フ字ガアリマスガ、此「絲拔絨」ト云フハ現在ノ問題ニナツテ居リマス此亞麻ノ絹綿交織ノ拔絲細工ヲ指シタノト見テ宜シト思ヒマスガ、是ト關稅定率ノ別表輸入稅表トハ違ヒマスルカ、是ハサウ見テ宜シイデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御問ノ通りデアリマス

○武市庫太君 武藤君ノ御修正說ニ贊成

○委員長(清室太郎君) ソレハ武藤君ノ修正說ガ出テ居リマスガ、念ノタメモウ一回申上ゲマス、第七號ノ方ハ其儘置イテ別表ノ輸入稅表中ノ第二百九十九號ニ、新ニ加フベキ第四項ノ中「四十「キログラム」ヲ十七ト修正スルコト、ソレカラ甲ノ方ノ絲數二十五ヲ超エ三十五ヲ超エサルモノヲ二十一ト改ムルコト、乙ノ絲數二十四ヲ超エトアルノヲ二十一ニ改ムルコト」此修正ノ御説ニ尙御希望トシテ「ブレード」ノ戻稅ヲ存置スルコト、即チ擔保提供ノ手續ヲ今日ノ如ク維持スルコト云フ政府ノ明言ヲ得テ、此修正ヲナサルト云フ御發言デアリマスガ、是ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○吉植庄一郎君 唯今ノ御宣言ノ通り私モ異議ハゴザイマセヌガ、茲ニ一言尙附加ヘテ置キタイコトガアリマス、ソレハ過日來數回政府ト交涉或ハ秘密會等ヲ催フシテ、漸ク茲ニ斯ノ如キ成案ヲ得ルニ至ツタコトヲ欣ブデアリマスガ、之ニ付テハ其論定ガ明白デナイガタメニ自カラ世間ノ疑惑ヲ抱クト云フコトハ、甚ダ議院ノ神聖ノタメニ惜ムデアリマス、故ニ此場合ニ於テ一言如何ナル點ガ秘密會後ニ交渉シタ點デアツテ、吾々ノ懸念シタ點ハ何處ニ在ルカ此點ヲ明カニシタイ、而シテ茲ニ政府ガ現ニ大部分同意ヲスルニ至ツタト云フコトノ理由ヲ一言シテ置ク、ト云フコトハ院ノ内外ニ對スル議員ノ面目ヲ維持スルタメニ必要デアルト私ハ思フ、ソレデ一言附加ヘテ置キタイ、吾々ガ政府ノ提案サレタトコロノ「ブレード」ヲ關稅ヲ現行法ノマ、ニシテ置クト云フコトハ、我國ニ於テ出來ルトコロノ「ブレード」ガ輸出スベキトコロノ原料トシテハ、約三分ノ一ニシカ達シテ居ナイ、即チ三分ノ二ハ輸入品ニ仰ガナケレバ今日ノ輸出品ヲ全部供給スルコトガ出來ナイデアアル、デアルカラシテ此關稅ノ改正ガ自ラ他動ノ議員ヨリシテ茲ニ生ジタモノトスルトキハ、少ナクトモ此輸入ノ所謂戻稅ニ類シタル此事情ガ、非常ニ貿易上ノ障礙トナルベキ形勢ト吾々ハ認メラル、ガ故ニ、是ハ或程度マデ此率ヲ下ゲタ方ガ宜イデハナイカ、其事ハ即チ將來我國ノ「ブレード」業ガ發達シテ三分ノ二若クハ全額マデ供給シ得ルト云フ程度ニ達シタナラバ、自ラ斯ノ如キ杞憂ハ要ラナイデアルケレドモ、既ニ貴族院ニ於テモ貿易助長ノ建議案ハ満場一致ヲ以テ通過シ、衆議院ニ於テモ貿易助長ノ建議案ハ満場一致ヲ以テ通過シタ、即チ今日我國ニ於ケル經濟ノ狀勢カラ見テモ、貿易上ニ於テハ一點一劃タリト雖モ之ヲ苟モスルコトハ、出來ナイ國情ニナツテ居ル、而モ上下ノ輿論モ亦茲ニ在ル、私ハ此ニ於テ若シ關稅ノ改正ノ結果、現在ノ貿易ニ多少タリトモ妨ゲラシテ、此發達ヲシテ來テ居ルトコロノ二百万圓以上ノ此輸出貿易ノ上ニ、僅カナカナル影響モ生ゼシメタナラバ、ソレハ非常ニ國家ノタメニ惜ムベキコトデアアル、殊ニ此原因ガ自動的原因カラ生ジタコトデアルナラバ免ニ角、他動の原因ヨリシテ茲ニ此關稅ノ改正ヲスル場合ニ考慮足ラズシテ當局者ノ注意足ラザル結果、或ハ吾々ノ協贊ヲスル

場合ニ於テ審議足ラザル結果、若シ此貿易ニ減退ヲ來タスヤウナ事實ヲ見ルコトニナツタナラバ、公論ニ背クトコロテ誠ニ本員ノ遺憾トスルコロデアアル、故ニ政府ニ對シテ數回此點ニ付テ、政府ハ安心出來ルト云フコトヲ言ヒ得ルカ、内國ノ産業ヲ保護スルト云フコトハ、我邦ノ關稅定率ヲ設クル根本ノ理由ニナツテ居ルノデアアルカラ、是ハ内國品ヲ保護シテ成ク自國ノ品物デヤツテ往クト云フコトハ、我邦ノ關稅ヲ拵ヘルトキノ原則ニナツテ居ルカラ、是ハ少シモ異論ハナイコトデアアル、併ナガラマデ二分一シカ原料ヲ持タナイモノデアツテ、サウシテ俄ニ此輸出貿易ヲ不安ノ地ニ置クト云フ嫌ヒガアリトスルナラバ、其責ハ當局者負ハザルベカラズト云フコトニナル、此點ガ吾々ガ安心ガ出來ルト政府ガ言明スルカ、決シテ心配ナイト云フコトヲ責任以テ明言ガ出來ルナラバ吾々ハ議論ヲシナイ、唯吾々ハ此一點ニ於テ甚ダ懸念スルコロアルカラ政府ニ考慮ヲ促カス所以デアアル、此一點政府ノ責任以テ斷シテ左様ナ心配ハナイ、此貿易ノ趨勢ニ付テ之ヲ阻滯スルノ嫌ヒハ寸毫モナイト云フコトヲ言ヒ得ルナラバ、モウ全然政府案ニ贊成スルト云フコトヲ——殊ニ吾々ハ政府黨ノ人間デアアル、吾々ハ大體ニ於テ政府ノ提案シタモノニ當然贊成スルケレドモ、此一點政府當局者ニ於テハ責任ヲ以テ御答スルコト頗ル躊躇スルノデアツタカラ、自分等ハ更ニ再考ヲ促ガシタ所以デアアル、此以外ニ何等ノ理由モ何等ノ事情モナイノデアアル、然ルニ其後政府モイロ／＼慎重ニ更ニ考慮ヲ費シタ上、成ベクサウ云フコトノ危險ノナイ積リデアアルガ、更ニ實行上ニモ注意ヲシテ、サウ云フ貿易ヲ阻滯スルヤウナコトニハセスト云フコトニ略々政府ノ御意向モ定マツタヤウデアアル、然ラバ吾々ハ別段論ズル必要ハナイ、此點ニ於テ政府ハ能ク責任ヲ取ラレテ、此關稅改正ノ結果貿易ノ——今進ミツ、アル貿易ニ妨ガラ來スヤウナコトハナイト云フコトニサヘ能ク注意セラル、ナラバ、少シモ吾々ハ政府ノ提案ニ對シテ異論ハナイ、ソレデ自分等ハ贊成シタノデアリマス、此故ニ政府ハ能ク此趣意ヲ御間違ヒナク、統計表ガ一番ノ證據デアアル、來期ノ議會ニ於テ他ノ原因ニ依ツテ貿易ニ減退ヲ來セバ是ハ仕方ガナイ、イロ／＼ナ複雑ナ原因ガアルカラ仕方ガナイガ、若シ此關稅ノ改正ノ結果サウ云フ數字ノ上ニ於テ、政府ハサウ思ウタケレドモ、ヤツテ見タトコロガ大變ソレガタメニ打撃ヲ蒙ツタト云フガ如キ、著シイ原因ヲ見ルナラバ、政府ガ當然責任ヲ取ルグラウト想ヒマスカラ、此政府案ニ贊成シテ一言其意思ヲ表明シテ置キマス

○委員長(清室太郎君) 武藤君ノ修正意見ニ政府ハ全部同意シテ居リマス、諸君モ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(清室太郎君) ソレデハ其通り決定致シマシテ、尙出來得ル限り本會議ニ於テ詳細報告ヲ致シマス——連日ノ勞ヲ謝シマス

午後二時三十四分散會

明治四十五年三月十八日印刷

明治四十五年三月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局